

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月31日

事業所名: 多機能型事業所にじいろ

回答数: 6名(回答率: 100%)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	プレイマットが利用児者の安静スペースで一杯になっていることがあります。また、活動に応じて間仕切りなどを使用しています。ベッド配置等を工夫し、動線を作り出していますが、スペースが狭いと感じています。	活動や機能訓練時、向きや位置等に気を配っています。定期的な生活空間の見直しとともに、日々工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	6	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	今年度より、アセスメントを担当制として、支援会議を実施しています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	普段の関わりで聞き取れた意向や、評価表を参考にして業務の組み立てをおこなっています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	現在、第三者評価は実施していません。	今後、実施する方向で検討中です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0		
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	現状では、明確なアセスメントシートがない状態ですが、計画更新時には、支援会議等で確認を行っています。	標準的なアセスメントシートを作成し、計画更新等に合わせて実施していきます。	
11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4	現状では、重症心身障害児者が対象のため、当事業所にあったアセスメントツールは使用していません。	現状では、カンファレンスや支援計画にて分析し計画に盛り込んでいます。今後、当事業所に適したアセスメントを検討、導入していきたいと考えています。	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	今年度より、年間計画として企画、実践しました。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	今年度より、年間計画として企画、実践しました。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	4	2	身体的な活動は適宜検討して個別と集団を組み合わせさせて実施していますが、計画への反映は不十分です。	生活支援計画の見直しに合わせて、個々の特性に合わせて個別と集団の活動に留意しながら作成を行いません。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	送迎等の関係上、打ち合わせの時間を合わせずらい現状です。翌朝のミーティングや口頭、記録にて申し送り等を実施しています。必要時には適宜実施しています。	勤務形態の違いもあり、定期的な開催は難しいため、現状の情報共有は継続しつつ、さらに職員間の共有方法は検討していきます。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	現状では、概ね1回/月で実施しています。	
	関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	今年度より担当制となったため、各々に対応して状況共有を図っています。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0		
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	0		
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	0		
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	今年度、該当児童はいませんでした。	移行支援は機関支援センターが担っていますが、適宜、情報共有は図っています。

保護者との連携	26	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	助言や連携は行なっていますが、研修は受講できていない状態です。	全職員が研修を受講できていないため、受講できる勤務体制を検討していきます。また、職員間での伝達等の情報共有も図っていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	現在検討中ですが、生活介護事業と同一日のため、機会の確保まで至っていない状態です。	今後、職員体制等を検討して、交流の持てる事業所との調整を図れるように考慮していきます。
	29	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	職員間で、協議会についての認知度に差がある状態です。管理者を中心に参加しています。	職員間での情報共有をおこない、認識の統一を図っていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	送迎や訪問を利用して、ご家庭との連携を充実させています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	4	明確なプログラムとしては実施していませんが、ご家庭との連携を密に行い、相談や助言を行っています。	当事業所にあった支援方法の内容や考え方の確立(マニュアル化等)を検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	小児在宅懇談会(1回/年)の実施とともに、保護者の活動で依頼があれば、事業所の解放をおこなっています。	引き続き、保護者同士の連携につながるような支援を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	レスパイト希望等にあわせて、営業日等の対応を柔軟に実施しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	毎月、ホームページ上のブログにて活動の様子や行事等の紹介はおこなっています。	広報誌は施設全体から2回/年おこなっています。ブログの紹介も、保護者がわかり易いように毎月配布する日程表等に明記していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分に注意しているか	6	0		
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0			

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	6	0	事業所を含めた施設全体で、地域住民の方々に対して夏祭りや公開講座等の行事をお知らせ、お誘いしています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3	ご家族からの聞き取りをおこなっていますが、指示書等の対応はできていません。	今後、利用開始時に確認や対応を行なっていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	職員の勉強会を開催しています。	
	47	どのような場合にやむ得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		